

〈第2回企画展〉

原爆文学展

長崎への原爆投下から、今年で70年目を迎えます。長崎に関わりが深い文学者が描いた作品を通して、平和への願いや祈りのあゆみを辿ります。



林京子 福田須磨子
山田かん 竹山広
松尾あつゆき 永井隆
秋月辰一郎

等の著書や関連資料



松尾あつゆき原爆句碑（長崎市平和公園 祈りのゾーン）
降伏のみことのり 妻をやく火 いまぞ熾りつ

平成27年

7月7日(火)

入場 申込
無料 不要

～8月30日(日)

長崎県立長崎図書館

4階郷土資料展示室

開館時間／9:30～17:00

休館日／毎週月曜日及び月末日

展示説明会／7月7日(火) 14:00～14:15

主催／長崎県立長崎図書館

後援／長崎新聞社 西日本新聞社長崎総局 朝日新聞社 毎日新聞社長崎支局
読売新聞西部本社 NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎
NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ 長崎ケーブルメディア
エフエム長崎



長崎市永井隆記念館蔵

入場無料・申し込み不要

第35回(平成27年度 第2回)県立長崎図書館講座の御案内

7月25日(土) 13:30～15:30 本館2階 講堂

【講演】「原爆70年:被爆者と地球市民の連帯」

【講師】朝長万左男氏 長崎大学名誉教授・日本赤十字社 長崎原爆病院名誉院長

純心聖母の会 恵の丘長崎原爆ホーム診療所長

長崎県立長崎図書館

長崎市立山1-1-51

☎095-826-5257

<http://www.lib.pref.nagasaki.jp>

平成27年度 長崎ゆかりの文学 第2回企画展

原爆文学展 主な展示目録

	資料名	出版者	出版	備考
松尾 あつゆき [1904~1983] 長崎県北松浦郡佐々町生まれ				
1	原爆句抄	文化評論出版	1972	
2	原爆句抄 A-BOMB HAIKU	新樹社	1995	緑川真澄の英訳
3	句集ケロイド(「層雲叢書 7」)	層雲社	1991	
4	花びらのような命	竜鳳書房	2008	竹村あつお編。副題「自由律俳人松尾あつゆき全俳句と長崎被爆体験」
5	松尾あつゆき日記	長崎新聞社	2012	副題「原爆俳句、彷徨う魂の軌跡」
6	松尾あつゆき100句 俳壇誌上句集(九十二)	本阿弥書店	2013	平田周選。『俳壇』(2013年8月号)所収
7	【色紙】わが傷はわが舐めるほかなしけものごとく			句集『原爆句抄』所収
8	日・仏・英語版 原爆詩選 4 ー 原爆俳句選ー	見目誠	2006	見目誠訳・編
福田 須磨子 [1922~1974] 長崎市生まれ				
9	【原稿】原子野の中のひとりごと			
10	原子野	現代社	1958	直筆サイン入り
11	原子野に生きる	光文社	1961	『女性自身』(1961年8月7日号)所収
12	原子野に生きるー長崎の証言双書 1 福田須磨子集ー	汐文社	1989	
13	【原稿】戦争・原爆と天皇ー高校生たちの問いに答えてー			
14	【原稿】烙印			
15	生きる 被爆後二十年の生活記録	長崎原爆被災者協議会	1965	
16	【原稿】われなお生きてあり			
17	【原稿】人並みのしあわせ			
18	【原稿】原水禁運動の中で			
19	【原稿】憲法と被爆者の権利			
20	毎日遺書を書く思いで「われなお生きてあり」を書き上げるまで	日本出版販売株式会社	1968	『新刊展望』(8月15日号)所収
林 京子 [1930~] 長崎市生まれ				
21	【原稿】祭りの場			
22	ギヤマンビードロ	講談社	1978	
23	日本国民は、恒久の平和を念願し	文芸春秋	1979	『文芸春秋』(第57巻第9号)所収
24	日本の原爆文学 3 林京子	ほるぷ出版	1983	
25	やすらかに今はねむり給え	講談社	1990	谷崎潤一郎賞
26	長崎ー平和への祈り	婦人之友社	1993	『明日の友』(第85号)所収
27	希望	講談社	2005	『群像』(2004年7月号)所収
28	【原稿】雨名月			『新潮』(1981年7月号)所収

	資料名	出版者	出版	備考
山田 かん〔1930～2003〕 長崎市生まれ				
29	記憶の固執	長崎文献社	1969	直筆サイン入り
30	ナガサキ・腐蝕する暦日の底で	長崎の証言刊行委員会	1971	
31	長崎・詩と詩人たち 反原爆表現の系譜	汐文社	1984	
32	長崎原爆・論集	本多企画	2001	
33	【原稿】長崎反核運動の連鎖			
34	日・仏語版 原爆詩選Ⅱ	見目誠	2005	見目誠訳・編。山田かんの詩5篇を掲載。
35	山田かん全詩集	コールサック社	2011	
秋月 辰一郎〔1916～2005〕 長崎市生まれ				
36	死の町 爆心地500メートル	朝日新聞社	1971	『朝日ジャーナル』(8月13日号)所収
37	死の同心円 長崎被爆医師の記録	講談社	1972	
38	「原爆」と三十年	朝日新聞社	1975	
竹山 広〔1920～2010〕 南田平村(現 平戸市田平町)生まれ				
39	とこしへの川	雁書館	1981	
40	【原稿】軍艦ありき			
41	千日千夜	ながらみ書房	1999	竹山氏の寄贈
42	生かされき	弦短歌会	2009	『弦』(第6号)所収
43	地の世	角川書店	2010	
44	【自筆資料】創作ノート			竹山広の最晩年の創作ノート
45	【色紙】くろぐろと水滴ち水にうち合へる死者満ちてわがとこしへの川			『とこしへの川』所収
46	【色紙】万の死者ひとつ炎に燃えし日のきれぎれにして多くを忘る			『とこしへの川』所収
47	【色紙】この川の水に重なりみたる死者いち日おもひ一年忘る			『千日千夜』所収
48	【色紙】爆心のゆふぐるる碑に對ひ立つ青年よ空を見ずに去るのか			『千日千夜』所収
永井 隆〔1908～1951〕 長崎医科大入学以降、長崎市に居住				
49	ロザリオの鎖	ロマンス社	1948	直筆サイン入り
50	亡びぬものを	長崎日日新聞社	1948	
51	この子を残して	大日本雄弁会講談社	1948	
52	この子を残して 愛と真実の記録3	東都書房	1964	
53	【紙芝居】この子を残して	日本教育画劇社	1950	安西啓明(画)
54	生命の河	日比谷出版社	1948	
55	長崎の鐘	日比谷出版社	1949	直筆サイン入り
56	長崎の鐘	三笠書房	1951	
57	【戯曲】長崎の鐘			岡部耕大作の戯曲
58	【劇映画シナリオ 準備稿】長崎の鐘			岡部耕大サイン入り
59	花咲く丘	日比谷出版社	1949	直筆サイン入り
60	私たちは長崎にいた 原爆生存者の叫び	大日本雄弁会講談社	1952	